



新しい生活様式を意識しながら、私たちはこの2ヶ月、それぞれが自分にできることを精一杯続けてまいりました。できる限りの3密を避け、丁寧な手洗いや除菌等を心がけ、子どもたちが安全で楽しい園生活を送れるように努めてきたところです。また、例年であれば年長組の子どもたちが様々な場で新入児さんのお世話をしていたのですが、今年は敢えて直接的なかわりを自粛してきました。ただ、自由な遊びの時間においては、年長組・年中組の子どもたちの遊びに誘発され、自ら‘おもしろそう’ ‘やってみよう’ と心が動いて遊び出す新入児さんもいたようです。自然な形で異年齢交流を今後も大切に見守っていきたいと思っています。

このように一日一日を大切に過ごしてきたことで、6月当初は集団生活に戸惑いや不安を感じていた新入児さんも少しずつ園生活の流れが分かり、今では好きな遊びや組の友だちとの活動を楽しめるようになってきました。保護者の皆様には、園の方針をご理解いただき、様々な面でご協力を賜り本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

園は8月1日から夏休みに入ります。今年は例年よりも短い休みとなりますが、“自分の命は自分で守る”という観点から、新型コロナウイルス感染症をはじめ、熱中症や水の事故等に対する具体的な安全対策についてご家族みなさんで話し合っていただければと思います。そして、子ども自身が“なぜそうするのか”を理解し行動できるよう、各ご家庭で判断基準等を分かりやすく子どもたちに伝えていただければ幸いです。

最後になりましたが、延期となっておりました『入園式』を来る8月29日(土)に開催いたします。限られた時間ではありますが、成長の一区切りとしてお子様の入園をご家族の皆様と祝えることを楽しみにしております。

生活・遊びの様子



ひとりでタオルを掛ける
ことができますね
満3歳



異年齢の自然なかかわりが見られる 自由な遊びの時間



靴の泥を自分で
落として靴箱に
片付けています



好きな遊びを楽しむ
年少児



発達に見合った動作の継続で身につく力

年長組の子どもたちは、天気の良い日は、鍵盤ハーモニカの練習をクロワッサン保育園の2階で行っています。幼稚園と保育園の間の道路を渡る際には、自分で左右を確認し手を高く挙げて渡り、東側入口から園内に入ります。「こんにちは。」「おじゃまします。」ときちんと挨拶をして入ってくる年長組ですが、初めて保育園を訪れた際には、玄関で座り込み靴を脱ぐ子どもの姿が多く見られました。

そこで、私は立ったまま靴を脱ぐよう声を掛けたところ、徐々に立ったまま靴を脱いだり履いたりすることが上手になった年長組です。日常生活において発達に見合った動作を積み重ねることで、子どもたちはバランス能力(平衡感覚)を身につけていきます。これまでやってきたから何となく続けている…といった動きがないか、園とご家庭とで見直し、基礎・基本を意識した体づくりに繋げていきましょう。



踵を上手に使って
靴を脱ぐ年長児

《編集後記》 梅雨末期の豪雨で7月初旬に発生した県南部の災害では、現在も多くの方が不自由な生活を余儀なくされていらっしゃる。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を願うばかりです。ここ数年、世界中のどこかでこうした自然災害が起きている現状を目の当たりにする度に、ストップ地球温暖化へ向けた取り組みと併せて、『防災』についても子どもたちと一緒に考えていく必要性を感じています。自分の命・大切な人の命の守り方として、夏休み中にお子様とご自分の居住地付近の安全をハザードマップで確認したり、非常持ち出し袋の点検等を行ってみてはいかがでしょうか。いざというときに慌てないためにも十分な備えをいたしましょう。〔子育て相談：北村〕